

ビジネスでコラボレーションの現状はどうなっているか



市場は成長中

380億ドル

世界のコミュニケーションとコラボレーションの市場は**2018年に合計380億ドル**となり、年間成長率は**11%**になります。

2017～2021年のモバイルUC&Cソリューションは**18%**の成長が見込まれています。¹

ユーザーのニーズと優先度は変化しているため

70%

統合コミュニケーションを最大級のニーズと評価しているCIOの割合。³

75%

ビジネスソフトウェアへのコミュニケーション/コラボレーションツールの組み込みを、今後5年間のデジタルトランスフォーメーションの成功に欠かせないと見なしているユーザーの割合。⁴

世界中のモバイル労働人口は、2022年までに**18.7億人**、つまり世界の労働人口の**42.5%**になる模様です。²

投資加速要因が明確になり



今後3年間にUCで**最優先事項**となる事柄:

- ビジネスプロセスを改善する
- TCOを低減する
- モバイルやリモートで働く従業員にアクセスを提供する

CIOは「生産性の向上」を2017～2019年の最大の投資加速要因と見なしています。⁴

開発スピードも加速

UC&Cツールを従業員に提供しているか、今後2年間に提供する予定がある企業の数は、以下のとおり増加傾向にあります。⁴

81%

UC
クライアント

80%

チーム
コラボレーション
ツール

80%

ハドル
ルームでのビ
デオ会議

CIOは「生産性の向上」を2017～2019年の最大の投資加速要因と見なしています。

実際に効果が出ている!

90%

コラボレーション規模の拡大を報告しているUCデプロイ済みの企業の割合。このうち半数は、**50%～100%以上**の増加がみられます。⁶

新しいコネクテッドの世界では**エクスペリエンス**がすべて

90%

会議サービスでは品質が非常に重要と見なしているユーザーの割合。³

UCにアクセスするソリューションは多様なまま

61%

UC機能へのアクセスに使用するデバイスをWebブラウザと答えた回答者の割合。49%は携帯電話またはスマートフォンと答えています。⁵

70%

電話、PC、モバイルデバイスを使用しているユーザーの割合。³

とはいえ今も卓上電話が全体をリード

卓上電話がUC機能へのアクセスに最もよく使用されているデバイスでした。⁵

57%

将来、卓上電話の使用が増えると答えたユーザーの割合。

28%

現状どおりと答えたユーザーの割合。減ると答えたのは15%のみでした。⁵



以上を踏まえると、好まれるデプロイメントモデルはハイブリッド

50%

組織の過半数がハイブリッドUCデプロイメントを検討中です。

その最大の理由は?

既存のオンプレミスの投資を活用するためです。⁵

所属組織では、接続、コミュニケーション、コラボレーションの手段を改善しようとお考えですか?アバヤならそれを実現できます。

アバヤは次のようなエンゲージメント、応答、共有の方法としてのユニファイドコミュニケーション(UC)をより自然で便利なものに再定義しています。

[アバヤが提供する真のユニファイドコミュニケーション](#)

[実現可能なマルチメディアコラボレーション](#)

[クリアで信頼性の高いVoIP](#)

AVAYA

Experiences That Matter